

# RSNPを用いたインタラクティブな 資産運用ポータルへの提案

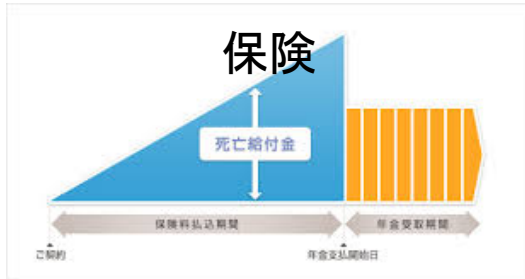
AIIT 産業技術大学院大学

矢田部 小百合

# S1. はじめに「RSNPと資産運用ポータル基盤」

金融GWシステム実現の際の主要プロトコルとしての可能性

個人の資産情報を統合的に管理（運用シミュレーション、アナライズ、資産管理）



RSNPサーバ上や、提携先の各種金融機関向けの計算エンジン

RSNPプロトコル

RAPIRO（音声認識・発話可能なUI）

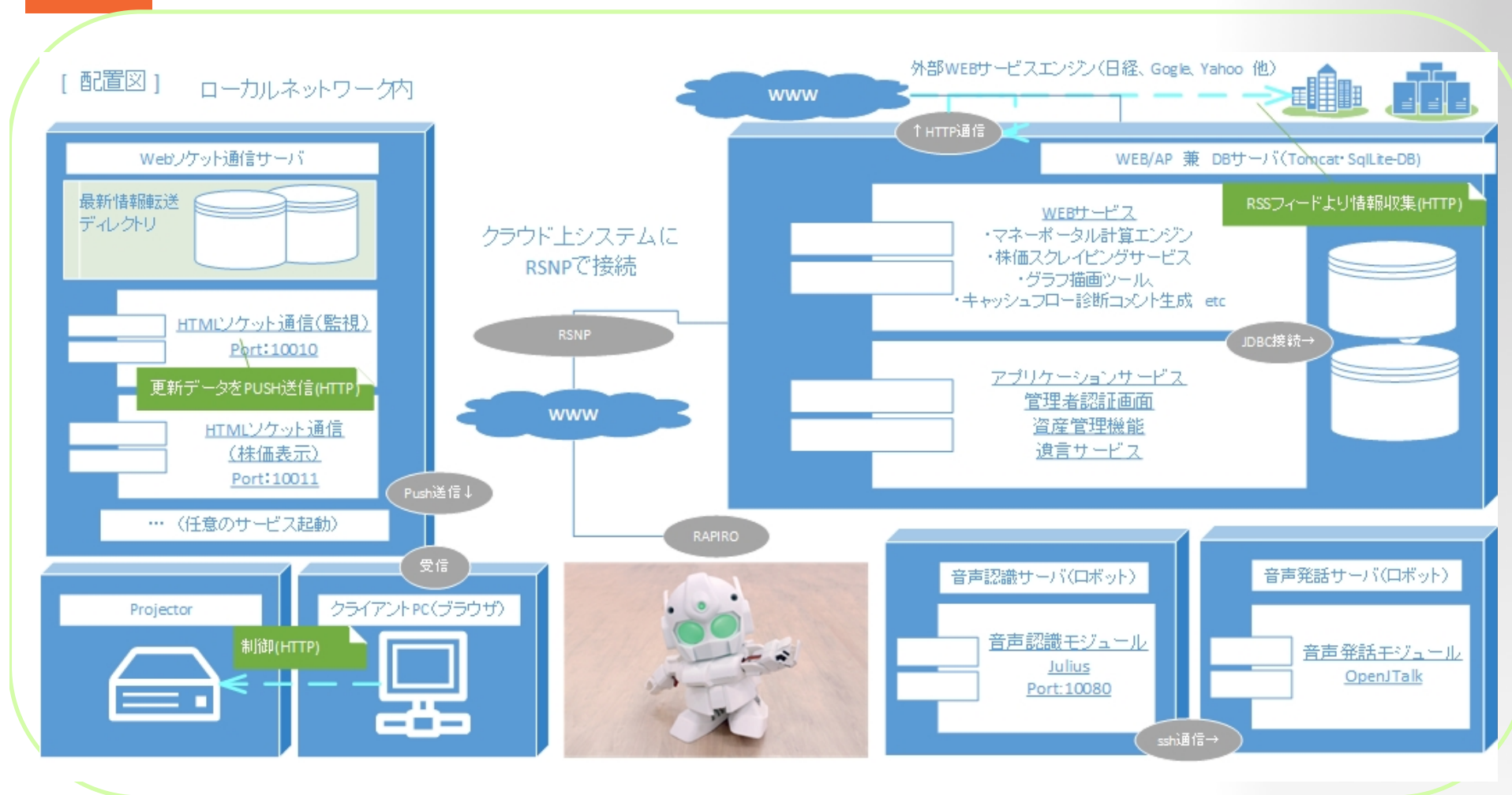
ライフプランのアドバイス

保有残高、株式の管理



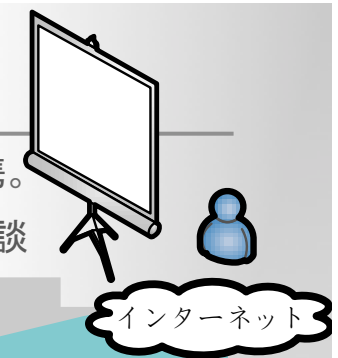
資産運用のアナライズ

遺言管理



- ◆ 情報 (株価、ニュース、天気、金地金の時価 等) のリアルタイム配信
- ◆ 保有している、資産情報を参照し、運用アドバイスやアナライズ機能

# S3. 資産運用アプリケーション群の提案



公的／企業  
年金情報連動

銀行、生命保険会社の  
保有資産情報連動

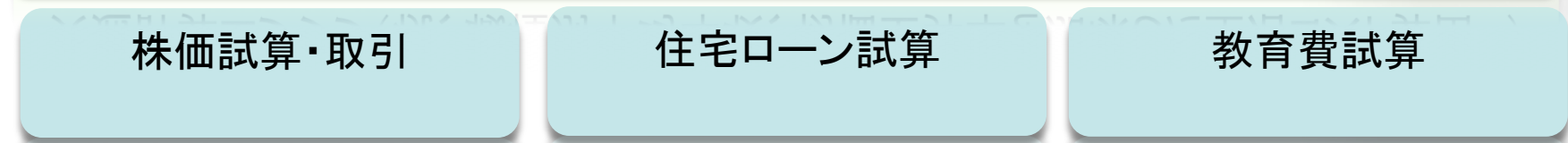
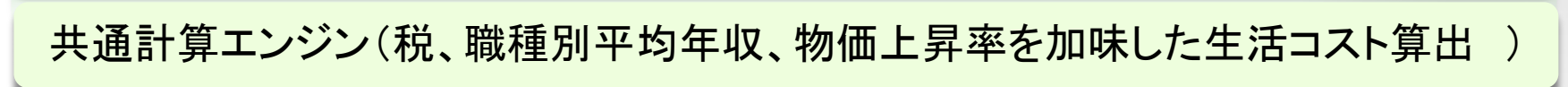
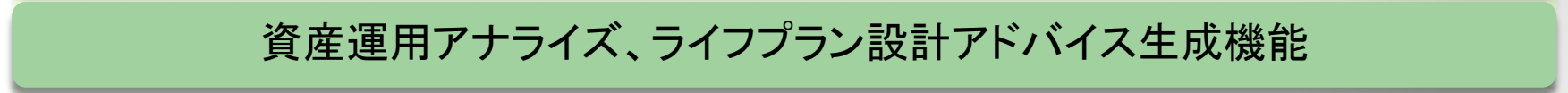
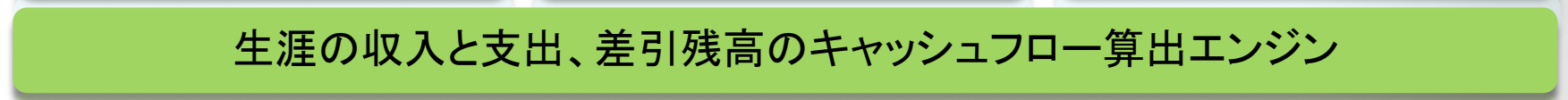
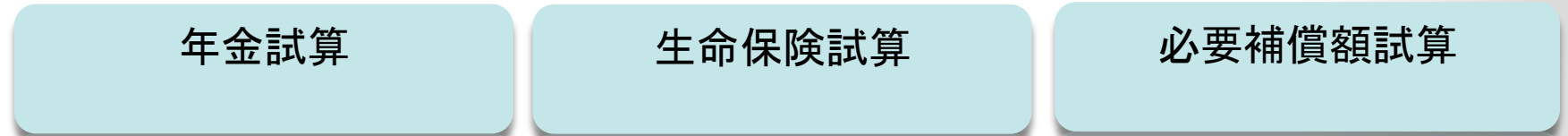
担当FPに情報連携。  
N/W越しに運用相談

インターネット

インターネット



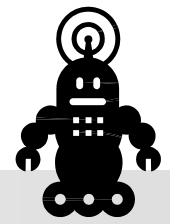
Cloud 上のサーバに、各種資産運用シミュレーション用の計算エンジンを配置



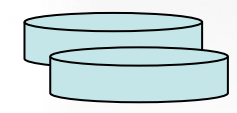
証券会社の口座情報  
(保有株式・債券 等)連動



ユーザ



ロボット



Cloud 上の資産情報管理DB

## S4. ビジネス展開における諸考察

個人ユーザが運用する資産（金融商品、預貯金、保険証券 等）の管理ツールおよび、生涯の生活プランのシミュレーションに特化したアプリケーションをクラウド上に展開して、**RSNPの使用シーンを拡大**する狙い。

RSNPプロトコルの特徴であるセキュアで堅牢な通信性能を活かし、アプリケーションの共通I/F仕様を取決めることで、**様々な金融機関との積極的に相互間情報連動**を行うシステムの実現を可能とする。

スマホやPC、タブレットといった従来の端末と比較し、より**優れたヒューマンインタフェース**実装を可能とするロボットを、WEBサービスのUIとして採用。（※従来はブラウザ等で入力していた情報をロボットとの対話でヒアリングしてアプリケーションに連携できるため、**PC操作に不慣れな高齢者**に大きな利点。入院先の病院への持ち込みにも便利。）

クライアント（ロボット）を、安価なRaspberryPi基盤で構成すれば、各種機能の拡張時の配布もSDカード1枚で済み、とても簡易。個別の端末情報を用いて独自の認証方式の実装をする事もできる。

**一案としては、クラウド上の遺言管理アプリケーションなども。**